10日で合格(うか)るぞ!

日商簿記3級 光速マスター

テキスト | 復習テスト付き

● 身近なケースとイラストで楽しくわかる!

新出題区分表の改定に対応

本書キャラクター
八百屋の源さん

合格のれっくLEC

本書の無料解説講義がWebで見られる!

読む前に見れば、もっとわかる! 今日学習する内容を講師が解説!

平野 明日香
LEC専任講師

LEC東京リーガルマインド 著

はしがき

簿記とは、取引を帳簿に記入するための技術です。この簿記の学習を通じて、日々の帳簿記入から財務諸表を作成するまでの過程を理解することができます。財務諸表は、経理部門や財務部門に携わる方のみならず、経営者であれば「会社の経営判断」の材料、営業担当者であれば「取引先の状況判断」の材料、投資家であれば「投資先の投資判断」の材料として重要な役割を果たします。企業のIR活動が活発化する中、ビジネスパーソンにとって「財務諸表を読み取る能力」は必要不可欠なものとなっており、近年、日商簿記検定受験者数は増加傾向にあります。

年々日本経済は、グローバル化が顕著に進行し、欧米型の新しい会計基準が次々と導入され、近年では、検定試験の出題内容は難易度が高まっています。本書は、そのような新しい会計基準や関係法令に完全対応し、はじめて簿記３級を学習される方が安心してお使いいただけるよう、合格に必要な知識を整理し解説した入門書です。

■本書の特長

本書は、長い間ご好評いただいておりました小社の大人気シリーズ「最速マスター」をベースに改良を加えて新たに書きおこしました。

「最速マスター」同様に、日商簿記検定３級の合格のために必要な知識をちょうど10日間ですべて学習できるようにするというコンセプトはそのままに、ケーススタディを中心とした構成へと生まれ変わりました。

各章の最初でその日に学習する項目を紹介し、本文中ではまず各項目について説明をしてから、具体的な取引を「ケース」として提示しています。

主人公の八百屋の源さんを中心に親しみやすいキャラクター達が出てくるケースを楽しみながら、それぞれの取引の記帳の仕方を学んでもらいます。記帳方法を順を追って丁寧に説明していますので、初学者の方でも理解しやすくなっています。各章の終わりには、その日の学習内容を「今日のまとめ」として整理するとともに、「復習テスト」を掲載していますので知識の定着が図れます。

ぜひ本書を活用していただき、みなさまが合格の栄冠を勝ちとられることを祈念しております。

2009年４月吉日

株式会社　東京リーガルマインド
LEC総合研究所　日商簿記試験部

本書を使用するにあたって

1. 学習を始める前に

簿記の学習は、次のものを準備して始めましょう。

準備するもの 鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、電卓

日商簿記検定は、自分で用意した電卓を持って受験します。また、鉛筆またはシャープペンシルを使って答案を作成します。ですから、普段の学習も必ずこれらを準備して行いましょう。

電卓は、日商簿記検定３級の受験に際しては、一般的に販売されているものを使っていただいてかまいません。手のひらくらいの大きさのものが、大きく使いやすいでしょう。

2. 勉強の方法

本書は、日商簿記検定３級の学習を開始される方に、合格のために必要な知識を解説する入門書です。また、テキストである本書の姉妹書として、テキストで得た知識を用いて演習を行う「日商簿記３級光速マスター問題集」を販売しています。

テキストと問題集を効果的に使用して、簿記の力を身につけていきましょう。

❶ テキストを用いて記帳方法を理解しましょう。

学習方法

各章の学習開始にあたって、Web上で配信している「ワンポイント解説講義」を視聴しましょう。本文中では、まず理論的な背景を説明しているので、これを読んでから具体的な取引と記帳方法を「ケース」で見ていきましょう。「ケース」とともに記載された計算手順や考え方も参照し、必要であれば電卓を利用して数字を確かめてください。

↓

学習の効果

「ケース」を用いた具体的な記帳方法と、その理論的背景や考え方を並行して学習することで、基本的な取引の記帳方法を理解し、また難易度の高い問題に対応するための応用力を養うことができます。

ひとつひとつ理解しながら身につけていく学習が、簿記の力を着実に育てていきます。

②「今日のまとめ」と「復習テスト」で論点を整理しましょう。

学習方法

各章の終わりの「今日のまとめ」と「復習テスト」を用いて、その日に学習した論点を整理し、問題演習を行いましょう。間違ってしまった場合はもう一度本文に戻って理解の不足を補ってください。

学習の効果

論点を整理することで、日商簿記3級の学習内容のどの部分を学習したのかを把握できます。
また、理解不足の論点がないかどうかを確かめることができます。

③問題集を使って、問題演習を行いましょう。

学習方法

本書の「今日のまとめ」では、その日の学習内容について、「日商簿記3級光速マスター問題集」のどの問題で扱われているのかがわかるようになっています。
本書の姉妹書である「日商簿記3級光速マスター問題集」には、〈基本〉と〈応用〉に分けて、合計50題の問題を掲載しています。本書の1日目の学習を終えたら、「今日のまとめ」で示された〈基本〉の問題を解きましょう。
他の日も同じように、「今日のまとめ」で示された〈基本〉の問題を解く、といった順序でまずは学習を進めていきます。このような本書と問題集の〈基本〉の問題を用いた10日間の学習を終えたら、次に問題集の〈応用〉の問題を順に解いていきましょう。

学習の効果

テキストと問題集の〈基本〉問題の演習を並行した10日間の学習によって、充分な基礎力を獲得することができます。また、その後の〈応用〉問題の演習によって、本試験に対応していく実戦力を養います。

CONTENTS

- はしがき
- 本書を使用するにあたって
- キャラクター相関図
- 本書の効果的活用法
- 日商簿記３級検定ガイド
- 日商簿記３級傾向と対策
- 勘定科目一覧
- 日商簿記３級の学習内容

1日目 これが簿記の全体像だ

1 簿記って何だろう …… 2
1 帳簿に記録をとっておこう …… 2
2 日商簿記検定３級の簿記 …… 4
3 帳簿の記録をもとにして報告書を作ろう …… 5

2 貸借対照表とは …… 6
1 貸借対照表を見てみよう …… 6
2 貸借対照表の形式 …… 7
3 「資産」に分類されるもの …… 7
4 「負債」に分類されるもの …… 7
5 「純資産」に分類されるもの …… 8

3 損益計算書とは …… 9
1 損益計算書を見てみよう …… 9
2 損益計算書の形式 …… 10
3 「収益」に分類されるもの …… 10
4 「費用」に分類されるもの …… 10
5 １年間の儲け …… 11

4 取引を記録しよう …… 12
1 記録が必要なときと記録が必要ないとき …… 12
2 仕訳帳と総勘定元帳 …… 12
3 仕訳帳ができるまで …… 13

4 転記の仕方 ……… 19
ケース1 ▶元入れ ～商売を始めるために元手を準備する
ケース2 ▶借入れ ～銀行からお金を借りる
ケース3 ▶手数料の受取り ～商品を配達して、その料金をもらう
ケース4 ▶給料の支払い ～従業員に給料を渡す

● 今日のまとめ ……… 30
● 復習テスト ……… 31

2日目 商品売買

1 商品売買とは ……… 34
1 商品を買ってくる ……… 34
2 商品を売る ……… 34
3 帳簿に記入する方法 ……… 34
ケース5 ▶商品の仕入れ(分記法) ～リンゴを買ってきた①
ケース6 ▶商品の売上げ(分記法) ～リンゴが売れた①
ケース7 ▶商品の仕入れ(三分法) ～リンゴを買ってきた②
ケース8 ▶商品の売上げ(三分法) ～リンゴが売れた②

2 掛とは ……… 40
1 お金の受渡しを後回しにする ……… 40
2 後回しにした代金の受渡し ……… 40
ケース9 ▶商品の掛仕入れ ～リンゴを買って、代金は後で払うと約束した
ケース10 ▶掛代金の支払い ～約束どおり代金を払った
ケース11 ▶商品の掛売上げ ～リンゴが売れて、代金は後でもらうことにした
ケース12 ▶掛代金の回収 ～約束どおり代金をもらった

3 値引・返品とは ……… 45
1 商品の値段を下げる ……… 45
2 商品を返品する ……… 46
ケース13 ▶仕入値引 ～リンゴの値段を安くしてもらった
ケース14 ▶売上値引 ～リンゴの値段を安くしてあげた
ケース15 ▶仕入返品 ～買ったリンゴを返品した
ケース16 ▶売上返品 ～売れたリンゴが返品された

4 諸掛とは ……… 51
1 商品を買ってくるのにかかった運送料など ……… 51
2 商品を届けるのにかかった運送料など ……… 51
ケース17 ▶仕入諸掛(当店負担) ～リンゴを買ってくるのに運送料がかかった①
ケース18 ▶仕入諸掛(先方負担) ～リンゴを買ってくるのに運送料がかかった②
ケース19 ▶売上諸掛(当店負担) ～リンゴを届けるのに運送料がかかった①
ケース20 ▶売上諸掛(先方負担) ～リンゴを届けるのに運送料がかかった②

● 今日のまとめ …… 60
● 復習テスト …… 62

3日目 現金・預金

1 現金とは …… 66
1 「現金」と呼ぶもの …… 66
2 通貨代用証券とは …… 66
ケース21 ▶郵便為替証書 ～お金に換えてもらえる証券①
ケース22 ▶期限の到来した社債の利札 ～お金に換えてもらえる証券②
ケース23 ▶配当金領収証 ～お金に換えてもらえる証券③

2 現金過不足とは …… 70
1 帳簿に書いてある現金の金額が間違っていたら …… 70
2 ずれの原因がわかったとき …… 70
ケース24 ▶現金の実際有高＞帳簿残高 ～帳簿に書いてある現金の金額が間違っている！①
ケース25 ▶超過分の原因の判明 ～金額がずれていた原因がわかった①
ケース26 ▶現金の実際有高＜帳簿残高 ～帳簿に書いてある現金の金額が間違っている！②
ケース27 ▶不足分の原因の判明 ～金額がずれていた原因がわかった②

3 当座預金とは …… 75
1 小切手を作って渡したとき …… 75
2 当座預金とは …… 75
ケース28 ▶当座預金口座の開設 ～銀行に行って当座預金口座を作った
ケース29 ▶小切手の振出 ～小切手を作って他の人に渡す
ケース30 ▶他人振出小切手の受取り ～他の人が作った小切手をもらう
ケース31 ▶他人振出小切手の預入れ ～他の人が作った小切手をもらって、すぐに銀行に行く
ケース32 ▶自己振出小切手の受取り ～自分が作った小切手が戻ってきた

4 当座借越とは …… 82
1 預金が足りなくなったら …… 82
2 銀行に立替えてもらったとき …… 82
ケース33 ▶当座借越（二勘定制） ～預金が足りなくなったとき①
ケース34 ▶当座借越の返済（二勘定制） ～銀行に立替えてもらった分を返済する①
ケース35 ▶当座借越（一勘定制） ～預金が足りなくなったとき②
ケース36 ▶当座借越の返済（一勘定制） ～銀行に立替えてもらった分を返済する②

5 小口現金とは …… 88
1 小口現金係に細かい支払いをまかせる …… 88

2 小口現金係からの報告 ……… 88
ケース37 ▶定額資金の前渡し
～小口現金係に電車代などの細かい支払いをまかせる
ケース38 ▶小口現金からの支払い ～小口現金係が電車代を支払ったとき
ケース39 ▶支払い内容の報告と補給 ～小口現金係からの支払内容の報告

● 今日のまとめ …… 93
● 復習テスト …… 96

4日目 手形取引

1 手形とは …… 100
1 手形をもらったとき ……… 100
2 手形に書いてある額のお金の受渡し ……… 100

2 約束手形 …… 101
1 約束手形を作って渡したとき ……… 101
2 約束手形をもらったとき ……… 101
ケース40 ▶約束手形の振出 ～約束手形を作って他の人に渡す
ケース41 ▶支払手形の決済 ～手形に書いてある額のお金を払う
ケース42 ▶約束手形の受取り ～他の人が作った約束手形をもらう
ケース43 ▶受取手形の回収 ～手形に書いてある額のお金をもらう

3 為替手形 …… 106
1 為替手形を作って渡したとき ……… 106
2 為替手形に書いてある額のお金を払うことを了承したとき … 107
3 為替手形をもらったとき ……… 108
ケース44 ▶得意先宛為替手形の振出
～為替手形を作り、引受をしてもらってから他の人に渡す
ケース45 ▶為替手形の引受
～手形に書いてある額のお金を払うことを了承する
ケース46 ▶為替手形の受取り
～他の人が作り、引受もしてもらってある為替手形をもらう

4 自己受為替手形・自己宛為替手形 …… 115
1 お金をもらうために為替手形を作る ……… 115
2 お金を払うために為替手形を作る ……… 116
ケース47 ▶自己受為替手形の振出 ～特殊な為替手形を作る①
ケース48 ▶自己宛為替手形の振出 ～特殊な為替手形を作る②

5 手形の裏書 …… 119
1 持っている手形を他の人に渡したとき ……… 119
2 他の人が持っていた手形をもらったとき ……… 120

ケース49 ▶ 裏書譲渡したとき ～持っている手形を他の人に渡す
ケース50 ▶ 他人振出約束手形を裏書譲渡されたとき
～他の人が持っていた約束手形をもらう
ケース51 ▶ 自己振出約束手形を裏書譲渡されたとき
～自分が作った約束手形が戻ってきた

6 手形の割引 ……126
1 銀行で手形をお金に換えてもらう ……126
2 銀行に支払う手数料 ……126
ケース52 ▶ 手形の割引 ～銀行で手形をお金に換えてもらう

● 今日のまとめ ……129
● 復習テスト ……131

5日目 その他の債権・債務

1 貸付金・借入金 ……134
1 お金の貸し借り ……134
2 手形を使ったお金の貸し借り ……135
3 利息の計算方法 ……135
ケース53 ▶ 貸付け ～お金を貸す
ケース54 ▶ 借入れ ～お金を借りる
ケース55 ▶ 手形による貸付け ～手形を使ってお金を貸す
ケース56 ▶ 手形による借入れ ～手形を使ってお金を借りる

2 未払金・未収金 ……144
1 商品以外の代金の支払い ……144
2 商品以外の代金の受取り ……144
ケース57 ▶ 未払金 ～土地を買って、代金は後で払うと約束した
ケース58 ▶ 未収金 ～土地を売って、代金は後でもらうことにした

3 前払金・前受金 ……148
1 商品の代金を先に渡しておく ……148
2 商品の代金を先に受取っておく ……148
ケース59 ▶ 手付金の支払い ～商品を受取る前に、代金を少し払っておく
ケース60 ▶ 手付金の受取り ～商品を渡す前に、代金を少しもらっておく

4 立替金 ……153
1 お金を立替えてあげる ……153
2 立替えてあげた分だけ給料から差引く ……153
ケース61 ▶ 立替金 ～お金を立替えてあげる

5 預り金 ……156
1 所得税の分だけ給料から差引く ……156

2 預っておいた所得税の分のお金を納める ……… 156
ケース62 ▶ 預り金 ～所得税の分のお金を預っておく

6 仮払金・仮受金 ……… 159
1 内容や金額がはっきりしないうちに払ったお金 ……… 159
2 内容がはっきりしないうちに受取ったお金 ……… 159
ケース63 ▶ 仮払金 ～金額がはっきり決まらないので、だいたいの額を払う
ケース64 ▶ 仮受金 ～お金はもらったけれど、何のお金かわからない

7 商品券・他店商品券 ……… 164
1 商品券で買い物をしてもらうとき ……… 164
2 他のお店の商品券で買い物をしてもらうとき ……… 164
ケース65 ▶ 商品券 ～商品券を作って、それで買い物をしてもらう
ケース66 ▶ 他店商品券 ～他のお店が作った商品券で買い物をしてもらう

● 今日のまとめ ……… 169
● 復習テスト ……… 173

6日目 有価証券・有形固定資産その他

1 有価証券 ……… 176
1 高い値段で売って儲けるつもりの有価証券 ……… 176
2 株式とは ……… 176
3 公社債とは ……… 177
4 高い値段で売って儲けるつもりで有価証券を買う ……… 177
ケース67 ▶ 株式 ～株式を買い、その後その株式を売る
ケース68 ▶ 社債 ～社債を買い、その後その社債を売る

2 有形固定資産 ……… 183
1 商売のために長く使っていく資産 ……… 183
2 商売のために長く使っていく資産を買う ……… 183
ケース69 ▶ 建物の購入 ～倉庫を買う
ケース70 ▶ 備品の購入 ～事務机を買う
ケース71 ▶ 車両の購入 ～トラックを買う

3 資本金 ……… 187
1 商売のための元手を用意する ……… 187
2 お店のお金を個人的なことに使う ……… 187
ケース72 ▶ 追加出資 ～商売のための元手をさらに用意する
ケース73 ▶ 引出し ～お店のお金を個人的なことに使ったとき
ケース74 ▶ 固定資産税 ～固定資産税を払ったとき

4 記入漏れ・訂正仕訳 ……192
1 帳簿に記入するのを忘れていたとき ……192
2 帳簿の記入が間違っていたとき ……192
ケース75 ▶ 訂正仕訳（相殺する場合）～仕訳が間違っている！①
ケース76 ▶ 訂正仕訳（合算する場合）～仕訳が間違っている！②

5 伝票 ……197
1 伝票とは ……197
2 ３種類の伝票を使い分ける ……197
3 ５種類の伝票を使い分ける ……198
ケース77 ▶ 入金伝票 ～お金をもらったときに使う伝票
ケース78 ▶ 出金伝票 ～お金を払ったときに使う伝票
ケース79 ▶ 振替伝票 ～お金の出入りがないときに使う伝票
ケース80 ▶ 一部現金取引（３伝票制）
～代金の一部だけを現金でもらった（３伝票制）
ケース81 ▶ 仕入伝票 ～商品を買ってきたときに使う伝票
ケース82 ▶ 売上伝票 ～商品が売れたときに使う伝票
ケース83 ▶ 一部現金取引（５伝票制）
～代金の一部だけを現金でもらった（５伝票制）

● 今日のまとめ ……209
● 復習テスト ……212

7日目 主要簿と補助簿

1 主要簿 ……216
1 主要簿とは ……216
2 仕訳帳と総勘定元帳の記入欄 ……216
3 相手勘定科目 ……217
ケース84 ▶ 主要簿 ～仕訳帳と総勘定元帳の書き方

2 補助簿 ……220
1 補助簿とは ……220
2 補助簿の種類 ……220
ケース85 ▶ 現金出納帳 ～現金の出入りがあったとき
ケース86 ▶ 当座預金出納帳 ～当座預金の増減があったとき
ケース87 ▶ 小口現金出納帳 ～細かい支払いをまとめておこう
ケース88 ▶ 受取手形記入帳 ～もらった手形を忘れないように
ケース89 ▶ 支払手形記入帳 ～手形に支払いを忘れないように
ケース90 ▶ 仕入帳 ～今月の仕入はいくらかな？
ケース91 ▶ 売上帳 ～今月の売上はいくらかな？
ケース92 ▶ 商品有高帳 ～商品の出入りがあったとき
ケース93 ▶ 売掛金元帳 ～得意先ごとにはいくらあるの？
ケース94 ▶ 買掛金元帳 ～仕入先ごとにはいくらあるの？

● 今日のまとめ ……… 246
● 復習テスト ……… 249

8日目 決算整理 I

1 決算とは ……… 252
1 期末を迎えたとき ……… 252
2 手続きの流れ ……… 252

2 試算表の作成 ……… 253
1 試算表を作ろう ……… 253
2 日商簿記検定３級の試算表 ……… 256
ケース95 ▶掛明細表 ～すべての勘定をまとめよう①
ケース96 ▶月中取引高欄 ～すべての勘定をまとめよう②
ケース97 ▶二重仕訳 ～すべての勘定をまとめよう③

3 決算整理と棚卸表 ……… 267
1 決算整理をしよう ……… 267
2 決算整理事項をまとめよう ……… 267

4 現金過不足の決算整理 ……… 268
1 ずれの原因が分からなかったとき ……… 268
2 決算で帳簿に書いてある現金の金額の間違いに気づいたら ……… 268
ケース98 ▶現金過不足勘定の貸方残高の処理
～金額がずれていた原因が分からなかった①
ケース99 ▶現金過不足勘定の借方残高の処理
～金額がずれていた原因が分からなかった②
ケース100 ▶決算時の不一致(現金の実際有高＞帳簿残高)
～帳簿に書いてある現金の金額が間違っている！①
ケース101 ▶決算時の不一致(現金の実際有高＜帳簿残高)
～帳簿に書いてある現金の金額が間違っている！②

5 商品の決算整理 ……… 275
1 商品を売買したことによる儲け ……… 275
2 売上原価がいくらか分かるようにする ……… 275
ケース102 ▶売上原価の算定(期首商品がない場合)
～商品が売れていくら儲かったんだろう？①
ケース103 ▶売上原価の算定(期首商品がある場合)
～商品が売れていくら儲かったんだろう？②

● 今日のまとめ ……… 283
● 復習テスト ……… 285

9日目 決算整理Ⅱ

1 貸倒れと貸倒引当金の設定 …………288

1 貸倒れとは ……… 288
2 貸倒れに備えておく ……… 288
3 実際に貸倒れてしまったとき ……… 289

ケース104 ▶ 貸倒引当金の繰入れ
～払ってもらう予定のお金がもらえなくなるかもしれない①
ケース105 ▶ 貸倒引当金の戻入れ
～払ってもらう予定のお金がもらえなくなるかもしれない②
ケース106 ▶ 貸倒れ（貸倒引当金が足りる場合）
～払ってもらう予定のお金がもらえなくなった！①
ケース107 ▶ 貸倒れ（貸倒引当金が不足する場合）
～払ってもらう予定のお金がもらえなくなった！②
ケース108 ▶ 償却債権取立益
～お金がもらえなくなったと思ったけれど、あとでもらえた

2 有価証券の評価 …………295

1 有価証券の値段の変動 ……… 295
2 帳簿に書いてある有価証券の金額を修正する ……… 295

ケース109 ▶ 売買目的有価証券の帳簿価額＜時価
～持っている株式の値段が上がった
ケース110 ▶ 売買目的有価証券の帳簿価額＞時価
～持っている株式の値段が下がった

3 固定資産の減価償却と売却 …………298

1 長く使うことによる価値の減少 ……… 298
2 価値が下がったことを帳簿に記入しよう ……… 298
3 どれだけ価値が下がったのか計算しよう ……… 299

ケース111 ▶ 減価償却（直接法）～減価償却費の計算①
ケース112 ▶ 期首売却（直接法）～３年間乗った車を期首に売る①
ケース113 ▶ 減価償却（間接法）～減価償却費の計算②
ケース114 ▶ 期首売却（間接法）～３年間乗った車を期首に売る②
ケース115 ▶ 期中売却（直接法と間接法）～３年半乗った車を期中に売る

4 費用・収益の見越しと繰延べ …………312

1 来年の分を先に受渡ししたとき ……… 312
2 今年の分をまだ受渡ししていないとき ……… 313

ケース116 ▶ 費用の繰延べと再振替仕訳 ～来年の分の保険料を払った
ケース117 ▶ 収益の繰延べと再振替仕訳 ～来年の分の手数料をもらった
ケース118 ▶ 費用の見越しと再振替仕訳
～お金は借りているけれど、利息は来年払う予定
ケース119 ▶ 収益の見越しと再振替仕訳
～お金は貸しているけれど、利息は来年もらう予定

5 消耗品と引出金の決算整理 ……325
1 文房具などのうち使った分と残っている分 ……325
2 個人的なことに使ったお金の合計 ……325
ケース120 ▶消耗品 ～使わずに残っている文房具がある
ケース121 ▶引出金 ～個人的なことに使ったお店のお金の合計

● 今日のまとめ ……331
● 復習テスト ……335

10日目 精算表と帳簿の締切り

1 精算表 ……338
1 精算表とは ……338
2 精算表の形式と記入方法 ……338
ケース122 ▶精算表 ～期末にすべての勘定をまとめよう①
ケース123 ▶精算表の推定 ～期末にすべての勘定をまとめよう②

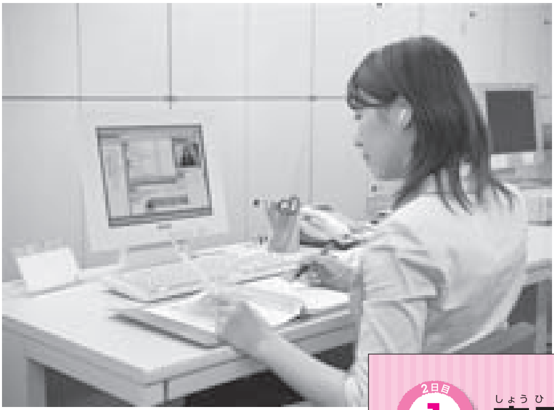
2 帳簿の締切り ……361
1 1年間の儲けがいくらか分かるようにする ……361
2 儲かった分を来年の商売の元手にする ……362
3 決算整理後の流れ ……362
ケース124 ▶損益振替と資本振替 ～期末に帳簿に区切りをつける

3 財務諸表の作成 ……371
1 損益計算書を作ろう ……371
2 貸借対照表を作ろう ……371
ケース125 ▶損益計算書 ～１年間でいくら儲かったんだろう？
ケース126 ▶貸借対照表 ～期末時点で持っている財産はどれだけだろう？

● 今日のまとめ ……377
● 復習テスト ……379

● ３級INDEX

本書の効果的活用法



LECの人気講師が今日の1日で何を学習するのか説明します。概要をここで把握しましょう。

このテキストでは八百屋の源さんが経営している八百源という商店が主人公になっています。源さんを通じて取引をみていきましょう。

本文の理解を助ける情報等を側注にまとめました。

重要!
必ず押さえなければならないポイントです。

理解しよう
理解してほしい大切なポイントです。
理解することで、効率よく学習が進められます。

ちょっと補足
本文の内容を補う簡単なコメントです。

2日目 1 商品売買とは

★1 ちょっと補足
商品とはお店で扱ってい
…の鉛筆
やノート、薬屋さんの薬、
などです。

1 … 商品を買ってくる
源さんは八百源という八百屋の主人です。源さんは、野菜や果物などの商品★1を市場に行って仕入れたり農家の人から買ったりして、八百源の店頭に並べます。

★2 重要!
1個あたりの金額を「@」記号で表すことがあります。「@」が出てきたら「単価」と読み替えるとよいでしょう。

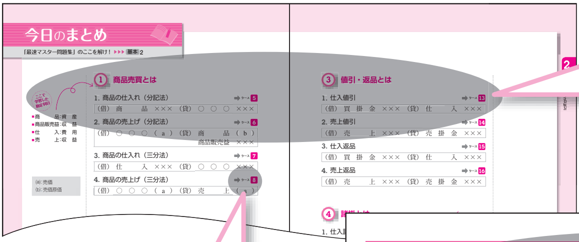
★3 重要!
本試験では、問題文に特別な指示がない限り三分法を用います。

★4 ちょっと補足
2日目以降は、仕訳を(借)(貸)というマークを使って簡単に表していきます。しかし、本試験で仕訳を解答するときは与えられた枠の中に仕訳を書き込むことになります。その際「¥」や「円」などの単位はつけないように注意しましょう。

2 … 商品を売る
源さんがリンゴを仕入れてきたときの値段を仕入原価、売るときの値段を売価といいます。
今、八百源にお客さんがやって来て、リンゴを¥150で買ってくれました。お客さんに実際に商品が売れたとき、そのリンゴの仕入れてきたときの値段¥100を売上原価といいます★2。

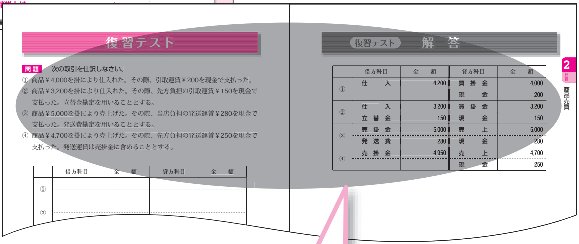
3 … 帳簿に記入する方法
商品を仕入れたり売上げたりすることを商品売買といいます。ここでは商品売買取引を帳簿に記入する方法として分記法と三分法のふたつ★3を学習します★4。

34



3級で最も重要なポイントを一覧できるようにしました。前日の復習の際や検定試験前の総チェックに役立ちます。

どこのケースで学習したか一目瞭然です。わからなかったら、復習しましょう。

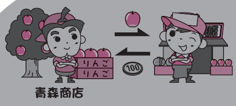


ケースをひととおり学習したら、すぐに解いてみましょう。必ずノートに書いて解いてください。少なくても3回は解いてみましょう。

ケース 5

商品の仕入れ（分記法）

リンゴを買ってきた①



源さんは、八百源で売るために、青森商店から¥100のリンゴを1個買い、現金で¥100払った。

問題 4月1日 八百源は青森商店から商品1個を@¥100で仕入れ、代金は現金で支払った。

取引の内容を簡単な言葉で説明しています。ここで、どのような取引があったのかを理解しましょう。試験で用いられる専門的な言葉になれていきましょう。

分記法では、「商品」という資産の勘定と「商品販売益」という収益の勘定を使って仕訳をします。売った都度、儲けと売上原価を分けて仕訳をします。

● 分記法で記帳する場合

商品の代金として、現金を青森商店に渡しています。「現金」は資産（しさん）であるため、「現金」が減ったときは資産の減少と考えて、貸方（かしかた）（右）に仕訳（しわけ）します。

（借）		（貸）現　　金	100

資産の減少 右▶

◀左 現金は資産！

貸借対照表：資産｜負債・純資産　損益計算書：費用｜収益

また、商品を仕入れたことにより、店頭に新しい商品が並びます。「**商品**」は資産であるため、「商品」が増えたときは資産の増加と考えて、借方（かりかた）（左）に仕訳します。

解答

（借）商　　品	100	（貸）現　　金	100

◀左 資産の増加

◀左 商品は資産！

貸借対照表：資産｜負債・純資産　損益計算書：費用｜収益

2日目 商品売買

35

テキストで新しく出てきた勘定科目が資産、負債、純資産、費用、収益のうちどれに該当するか一目でわかります。

1日目

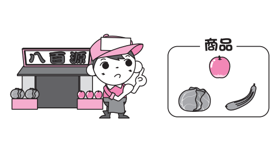
これが簿記の全体像だ

ワンポイント
解説講義
配信中
LEC簿記 検索

1日目に学習すること

① 簿記って何だろう

様々な種類のお店や会社が簿記を行っています。簿記とは具体的にどんな作業のことを指すのか、また何のために簿記を行うのかについて学習します。

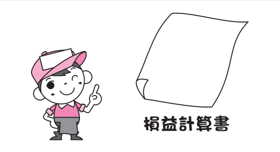


② 貸借対照表とは

簿記の目的のひとつは、貸借対照表という報告書を作ることです。貸借対照表がどんな報告書なのかをみていきます。

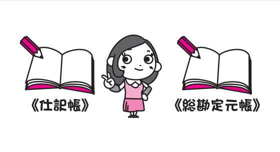
③ 損益計算書とは

簿記の目的には、損益計算書という報告書を作ることもあります。損益計算書がどんな報告書なのかをみていきます。



④ 取引を記録しよう

取引を行ったら、2冊のノートに記録をとります。記録をとるときのルールを学習します。



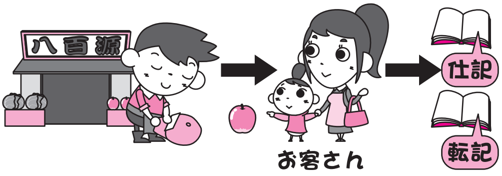
1日目

1 簿記って何だろう

1 … 帳簿に記録をとっておこう

皆さんは携帯電話を持っていますか。携帯電話をうまく利用するには、取扱説明書を見たり、友達に教えてもらったりして使い方を理解する必要があります。自動車に乗る場合はどうでしょうか。運転の仕方を学んで繰り返し練習しなければ、安全に自動車に乗ることはできません。これと同じように、企業をうまく経営するためには、簿記を理解しこの力を身に付けていなければなりません。

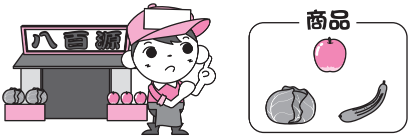
企業では帳簿というノートを２冊★1用意して、様々な出来事をひとつひとつ記録しています。**日記のように「何月何日にどの商品が売れました」「電気屋さんで新型のパソコンを買いました」とメモをとっても良さそうですが、実際にはこの記録のとり方にはルール★2が定められています。**帳簿に記録をとるときにどんなルールがあるのか、ここで簡単にみていきましょう。ここからは自分が八百屋の主人になったところを想像して読んでください。



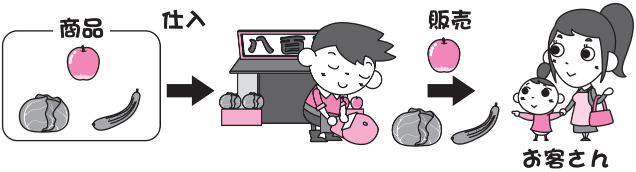
皆さんの八百屋にお客さんがやってきて、リンゴを買ってくれました。皆さんは２冊の帳簿を広げて、どういう出来事があったのか記録します。しばらくして別のお客さんがやってきて、今度はキャベツとキュウリを買ってくれました。皆さんはまた帳簿に記録をとります。このように何か出来事があるたびに２冊の帳簿にそれぞれ記入することになります。

★1 ちょっと補足
この２冊の帳簿に記録した内容をまとめて、後で報告書を２枚作ることになります。また、企業は、仕訳帳と総勘定元帳という２冊の帳簿を用意します。

★2 重要！
このルールを学ぶことが簿記の学習になります。



帳簿の記入をするとき、皆さんは「リンゴが売れた」「キャベツとキュウリが売れた」などと書く必要はありません。どれも八百屋で販売している商品ですから、リンゴやキャベツやキュウリ、その他にも八百屋で扱っている野菜や果物は全部まとめて「商品」と呼んで、帳簿には「商品が売れた」ということだけを書き込みます。**帳簿に記録をとるときには、**この「商品」のように、**様々なものをひとくくりにする言葉**★3**を使います。**



こうして記録をとっていくうちに、２冊の帳簿に手で書きこむのが大変になってきたので、皆さんは電気屋に行ってパソコンを買ってきました。このときも、先ほどリンゴを買ったときのように帳簿に「商品を買った」と記録するのでしょうか。たしかに商品という勘定科目はいろいろなものをひとまとめにした言葉ですが、パソコンは含まれません。なぜなら、このパソコンはお客さんに販売するつもりはないからです。売り物ではないので、「商品」ではなく別の勘定科目を使って記録をとらなければなりません。このパソコンのように、仕事で長い間使うために買ったものは、「備品（びひん）」★4という勘定科目でひとまとめにします。八百屋がパソコンを買ってきたときは、「備品を買った」と記録すればいいのです。では、もし皆さんが八百屋では

★3 重要！

このような言葉を「勘定（かんじょう）科目（かもく）」と呼んでいます。

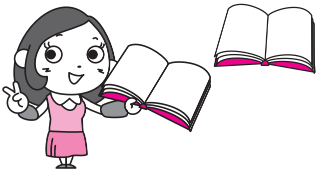
★4 ちょっと補足

他にも例えば、仕事で使う事務机や椅子、商品を並べておくための棚などは「備品」と記録します。

なく電気屋の主人で、お客さんに販売するつもりでパソコンを仕入れたとしたらどうでしょう。このときはパソコンは「商品」にあたるため、帳簿には「商品を買った」と記録をとることになります。

　このようにして様々な出来事を２冊の帳簿に記録していきますが、お店の商売にまったく関係のないことは帳簿に書き込んではいけません。

　例えば、皆さんが友達と遊びにいって一緒にごはんを食べたとしても、それは八百屋の商売には特に関係がないので、帳簿には何も書きません。でも、もし一緒に食事をした相手がお得意様で、遊びではなく接待だったとしたらどうでしょうか。これは八百屋の商売がうまくいくようにと思ってやったことですから、帳簿に記録する必要があります。



2 ・・・ 日商簿記検定3級の簿記

　様々な種類のお店が帳簿への記録を行っていますが、日商簿記検定３級では「商品販売業(しょうひんはんばいぎょう)」★5を営んでいる個人(こじん)商店(しょうてん)★6の簿記が出題されます。

　このテキストでは、「八百源(やおげん)」という名前の八百屋を営んでいる源(げん)さんを主人公にして、個人商店の簿記を解説していきます。

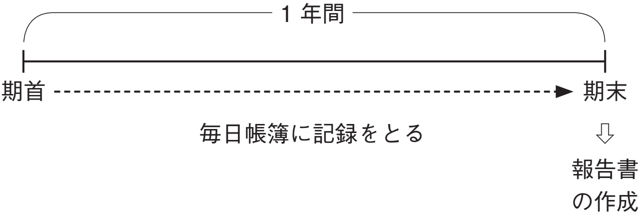
★5 ちょっと補足
商品を仕入れて、販売する商売を商品販売業と呼びます。

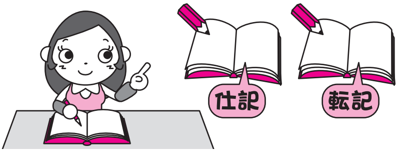
★6 ちょっと補足
日商簿記検定２級になると、個人商店ではなく株式会社の簿記を学習することになります。

3 ・・・ 帳簿の記録をもとにして報告書を作ろう

源さんは、野菜や果物を市場や農家から買ってくるたびに、帳簿に記録をとります。また、八百源にお客さんがやって来て野菜や果物が売れるたびに、帳簿に記録をとります。

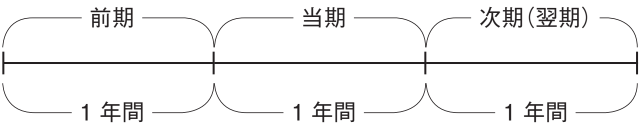
このようにして毎日帳簿に記録をとり、１年たったところで、源さんは１年間書きためてきた帳簿の記録をもとにして、報告書を２枚作ります。この報告書は、１枚は「貸借対照表(たいしゃくたいしょうひょう)」、もう１枚は「損益計算書(そんえきけいさんしょ)」と呼ばれます★7。





報告書を作るとき、１年間の最初の日のことを「期首(きしゅ)」、１年間の最後の日のことを「期末(きまつ)」、期首から期末までの１年間のことを「会計期間(かいけいきかん)」と呼びます★8。

現在の会計期間のことを「当期(とうき)」、当期の次の会計期間のことを「次期(じき)」（または「翌期(よくき)」）、当期のひとつ前の会計期間のことを「前期(ぜんき)」と呼びます★9。



★7 ちょっと補足
報告書は、会計期間ごとに(毎年)作ります。

★8 ちょっと補足
期首が平成×年1月1日であれば、期末は平成×年12月31日です。
期末のことを、決算日ともいいます。

★9 ちょっと補足
今年は当期、来年は次期(翌期)、昨年は前期といいます。

今日のまとめ

「光速マスター問題集」のここを解け！ ▶▶▶ 基本 1

① 簿記って何だろう

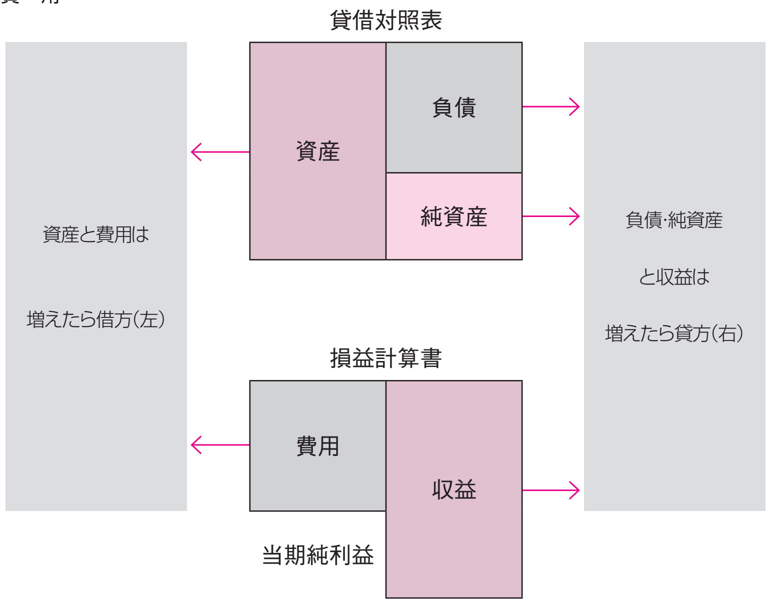
企業は帳簿と呼ばれるノートに記録をとり、この記録をもとにして1年ごとに貸借対照表と損益計算書を作ります。帳簿には、仕訳帳と総勘定元帳があります。

② 1年間の流れ

ここで学習した勘定科目

- 現　　金：資　産
- 資 本 金：純資産
- 借 入 金：負　債
- 受取手数料：収　益
- 給　　料：費　用

簿記上の取引があったときは、仕訳帳に仕訳を記入し、総勘定元帳に転記します。期末になったら、総勘定元帳を見ながら、貸借対照表と損益計算書を作ります。



復習テスト

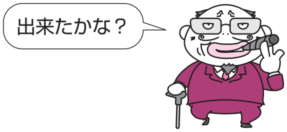
問題　次の取引を仕訳しなさい。

① 4月 1日　現金￥8,000を元入れした。
② 4月 5日　銀行から現金￥5,000を借入れた。
③ 4月19日　手数料￥2,000を現金で受取った。
④ 4月30日　給料￥2,500を現金で支払った。

	日付	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
①					
②					
③					
④					

復習テスト　解　答

	日付	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
①	4/ 1	現　金	8,000	資本金	8,000
②	5	現　金	5,000	借入金	5,000
③	19	現　金	2,000	受取手数料	2,000
④	30	給　料	2,500	現　金	2,500



解答用紙のダウンロード・サービス

本書に直接書き込んでしまった方が解き直しの際に不都合を感じないように、解答用紙のダウンロード･サービスを提供しています。下記のURLにアクセスしてください。

今すぐアクセス！　www.lec-jp.com/bm/

なお、サービスのご利用には専用IDが必要となります。専用IDは、表紙裏をご覧ください。

３級INDEX

あ

預り金 156
一部現金取引 202・207
移動平均法 235
受取手形 100
受取手形記入帳 226
受取配当金 69
受取利息 134
裏書 119
売上 39
売上原価 34・275
売上諸掛 51
売上総利益 275
売上帳 232
売上伝票 206
売上値引 45・48
売上返品 46・50
売掛金 43
売掛金元帳 240

か

買掛金 41
買掛金元帳 243
会計期間 5
額面金額 177
掛 40
掛明細表 256
貸倒損失 289
貸方 6
貸倒引当金 288
貸倒引当金繰入 290
貸倒引当金戻入 291
貸付金 134
株式 176
借入金 134
仮受金 159
借方 6
仮払金 159
為替手形 106
勘定科目 13
間接法 304
繰越試算表 362・370
繰延べ 312
決算 252
決算整理 267
決算日 252
減価償却 298
減価償却累計額 304
現金 66
現金過不足 70・268
現金出納帳 221
現金預金 75
合計残高試算表 255
合計試算表 253
公社債 177
購入代価 177・183
小切手 75
小口現金 88
小口現金出納帳 223
固定資産売却益 146・303
固定資産売却損 147・303
５伝票制 198

10日で合格(うか)るぞ！
日商簿記３級 光速マスター テキスト

2009年４月30日　第１版　第１刷発行
2010年５月20日　　　　　第５刷発行
著　者●株式会社　東京リーガルマインド
ＬＥＣ総合研究所　日商簿記試験部

発行所●株式会社　東京リーガルマインド
〒164-0001　東京都中野区中野4-11-10
アーバンネット中野ビル
☎03(5913)5011（代　表）
☎03(5913)6336（出版部）
振　替　00160-8-86652
www.lec.co.jp/
お問い合わせは出版部へお願いいたします。

本文フォーマットデザイン●コミュニケーションアーツ
本文・表紙イラスト●ティー エス エヌ　いさじ たけひろ
印刷・製本●倉敷印刷株式会社

© 2009 TOKYO LEGAL MIND K.K., Printed in Japan
ISBN978-4-8449-9885-3

複製・頒布を禁じます。
本書の全部または一部を無断で複製・転載等することは、法律で認められた場合を除き、著作者及び出版者の権利侵害になりますので、その場合はあらかじめ弊社あてに許諾をお求めください。
なお、本書は個人の方々の学習目的で使用していただくために販売するものです。弊社と競合する営利目的での使用等は固くお断りいたしております。
落丁・乱丁本は、送料弊社負担にてお取替えいたします。出版部までご連絡ください。

ISBN978-4-8449-9885-3
C3333 ¥950E

9784844998853

定価 998円 本体950円 +税5%
BD09885

1923333009504

購入者限定 応募者全員プレゼント 無料

Web講義配信【全10回】
「光速マスターテキストワンポイント解説講義」

試験前の腕試しに！「精撰模試」無料進呈

解き直しに必須「解答用紙」ダウンロード

※詳細は中面をご覧下さい。